

切り口	分類	マテリアリティ	内容	KPI	目標	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	関連ページ
ダイセルグループの成長と価値共創に向けたマテリアリティ	Sustainable Product 社会と人々の幸せ	美と健康への貢献	・医薬医療市場へのソリューション提供	当社キラルカラムの医薬品分析法への採用件数※ ¹	2025年度:95件(累計)	113件	124件	124件	コスメ・ヘルスケア https://www.daicel.com/business/purpose/cosmetics-health/
			・サステナブル素材の化粧品原料、健康食品の提供	機能性食品素材の年間延べ提供人数	2025年度:223万人(2020年度実績2倍)	169万人	162万人	205万人	メディカル https://www.daicel.com/business/purpose/medical/
		スマート社会へのソリューションの提供	・半導体プロセス用溶剤、レジストポリマーの提供	先端半導体製造プロセスに不可欠な安全性の高い高沸点溶剤の新商品率※ ²	2025年度:23.9%	7.7%	8.4%	11.0%	エレクトロニクス https://www.daicel.com/business/purpose/electronics/
		安全・安心を社会へ提供	・モビリティの安全・安心を守る製品の提供	自動車一台当たりの当社安全装置の平均搭載個数※ ³ 多様化する小型モビリティ※ ⁴ や家庭内事故※ ⁵ を防ぐ新安全デバイス上市数	2025年度:3個／台 2025年度:新安全デバイス提案2030年度:2件	2.2個／台 新事業企画2件	2.2個／台 新事業開発推進2件	2.4個／台 新事業開発推進2件	モビリティ https://www.daicel.com/business/purpose/mobility/
		環境に貢献する素材や技術の提供	・環境対応プラスチックなど環境負荷を低減する素材や技術の提供	製品に含まれる循環型原料※ ⁶ の使用率	2030年度:30%以上	15.8%	16.5%	17.8%	環境・エネルギー https://www.daicel.com/business/purpose/eco-energy/
				環境対応型(高生分解性など)酢酸セルロースの生産量	2025年度:10,000～20,000トン／年	7,625トン／年	8,282トン／年	5,520トン／年	
	Sustainable Process 幸せを提供する環境	循環型社会構築への貢献	・バイオマスバリューチェーン構築 ・廃棄物やCO ₂ の再利用	天然素材を利用した資源循環システムの対外的な提案数	2025年度:3件	1件	1件	3件	バイオマスバリューチェーン https://www.daicel.com/bvc/
		気候変動への対応	・生産革新、エネルギー革新、プロセス革新による、GHG排出量削減	当社グループのGHG排出量削減率	スコープ1,2 2030年度:50%削減(2018年度比)	2.3%削減	1.0%削減	7.9%削減	気候変動への対応 https://www.daicel.com/sustainability/environmentreport/climate-change/
	Sustainable People 働く人の幸せ	DE&Iの推進	・性別、年齢、国籍、障がいの有無に関わらず誰もがイキイキ働く職場の実現	女性管理職比率※ ⁸ 障がい者3年超在籍率※ ⁸ (1＝入社後3年以内に離職した障がい者数／在籍障がい者数)×100	2025年度:10%以上 95%以上を継続	5.6% 97.4%	6.3% 100%	7.6% 100%	ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進 https://www.daicel.com/sustainability/socialreport/diversity/
		人の成長のサポート	・専門性を磨く人財育成 ・挑戦する人を後押しする仕組み作り ・公平性が高い評価システム構築	人財育成に関する取り組み状況、人事制度見直し状況、キャリアセミナーや部門長向けマネジメント研修の導入・見直し状況※ ⁸	実績を開示	●社員のキャリア自律を支援する体制強化 ・年代別キャリア研修 ・事務系社員向けの専門能力開発プログラム開始 ・部門長向けコーチング研修を導入 ・AI教育の実施	●社員のキャリア自律を支援する体制強化を継続 ●キャリアサポート費用の導入(3万/人) ●上司向け研修の企画・実施	前年度までの取り組みを継続するとともに、2025年度は新たに以下を実施 ●評価面談を通じて上司と部下の対話を深め、目指す方向性を共有するため、評価者研修を強化 ●事務系職種の専門性保持のミエル化に着手 ●年代別キャリア研修に「35歳到達時」「45歳到達時」を新規創設するよう検討着手	人の成長のサポート https://www.daicel.com/sustainability/socialreport/hrd/
ダイセルグループの存立とガバナンスの基盤に関わるマテリアリティ	Environment 環境	環境負荷の低減	・廃棄物削減とリサイクルの促進	当社事業場および国内グループ企業の産業廃棄物の再資源化率	2025年度:99%以上	98.0%	98.4%	98.0%	廃棄物削減・リサイクル https://www.daicel.com/sustainability/environmentreport/industrial-waste/
		保安防災と労働安全衛生	・保安事故撲滅	重大労災件数※ ⁷	0(ゼロ)件を継続	1件	0件	1件	保安防災 https://www.daicel.com/sustainability/socialreport/safety-security/
				重大保安事故件数※ ⁷	0(ゼロ)件を継続	0件	0件	0件	労働安全衛生 https://www.daicel.com/sustainability/socialreport/ohs/
			・クライシスアセスメントによる被害の極小化	過去トラブル(労災、保安防災)に基づいた安全教育実施率※ ⁸	100%を継続	100%	100%	100%	
		化学品安全と品質の向上	・品質マネジメントの強化による品質不具合の再発防止 ・化学物質情報の一元管理と情報の提供	RC関連法規の監査実施率※ ⁹	100%を継続	100%	100%	100%	化学品安全 https://www.daicel.com/sustainability/socialreport/chemical-safety/
				化学品規制違反件数	0(ゼロ)件	0件	0件	0件	
				製品安全に起因したトラブル件数	0(ゼロ)件	0件	0件	0件	品質の向上 https://www.daicel.com/sustainability/socialreport/quality/
				顧客苦情への24時間以内の1次回答率※ ⁹	2025年度:100%	89.0%	87.4%	92.0%	
		人権の尊重	・人権デュー・ディリジェンスの構築と実施 ・人権侵害の是正・救済の仕組みの構築や教育	ダイセルグループに対する人権デュー・ディリジェンスの進捗率	2025年度:100%	75.4% (2019年度～2023年度) 国内 19社／19社、海外 24社／38社※ ¹⁰	88.7% (2019年度～2024年度) 国内 19社／19社、海外 28社／34社※ ¹⁰	100% (2019年度～2025年度) 国内 19社／19社、海外 34社／34社※ ¹⁰	人権の尊重 https://www.daicel.com/sustainability/socialreport/human-rights/
				サプライヤーに対する人権デュー・ディリジェンスの年次計画に対する進捗率	100%継続	(国内外のサプライヤーへ人権DD実施し、課題に応じてサプライヤーをフォロー、50件を改善)	100%	100%	
	Social 社会	働きやすい企業文化の醸成	・労働時間短縮と有給休暇取得率向上	連続休暇取得率※ ⁸ (年一回5日連続休暇)	2025年度:100%	72.2%	69.2%	68.7%	働きやすい企業文化の醸成 https://www.daicel.com/sustainability/socialreport/wlb/
			・柔軟な働き方への支援	男性育児休業取得率※ ⁸	2025年度:100%	89.8%	94.1%	100%	
		責任ある調達	・サプライチェーン全体のCSRレベル向上	持続可能な調達率 <2024年度に新規設定> 2024年度版SAQを実施し、当社グループ基準①を満たすサプライヤー②を100%にする ①基準点(重要9項目で4点以上、その他24項目で3点以上) ②購買金額の85%以上及び重要原料の取引先 * 以下の旧KPIは2023年度に達成 <過去の目標/実績は0内に記載> 「SAQの結果、弊社基準点を満たす原産地サプライヤーの割合」	2025年度:100% (2023年度:100%)	(100%)	62.0%	99.0%	責任ある調達 https://www.daicel.com/sustainability/socialreport/supply-chain/
				・社員の健康促進	社員の健康促進に関する取り組み状況※ ⁸	実績を開示	継続して以下の取り組みを実施し、各認定を獲得 ●健康経営専任組織である「グループ健康サポートセンター」を中心に、社員一人ひとりのココロ・カラダの健康づくりを全社、事業場別、職場別、個人別の4つの階層で推進 ●スポーツイベントの開催など、社員に加え、家族、取引先、地域住民も含め、一人ひとりが心身ともに健康であることを目指した健康経営を推進 ●ベビシッター補助制度を拡充 ●「育児休業とらのまき」を対象となる社員と上司に配布、活用 ●7年連続して「健康経営優良法人(ホワイト500)」の認定を獲得 ●3年連続して「スポーツエールカンパニー」の認定を獲得 ●バラスポーツの普及・理解促進に向けた取り組みが評価され、新設された「スポーツエールカンパニー(バラスポーツ部門)」の認定を獲得		
Governance ガバナンス	グループ・ガバナンスとコンプライアンスの基盤強化	・コーポレートガバナンス強化	取締役会による監督機能強化の取り組み状況 社外取締役および社外監査役による取締役会評価結果目標(満点5点)	平均4.0点以上	4.4点	4.3点	4.3点	コーポレート・ガバナンス https://www.daicel.com/sustainability/governancereport/governance/	
			経営判断を要する重要性の高い案件に対し、法的視点よりチェック、対応がなされている率	100%を継続	100%	100%	100%	企業倫理(コンプライアンス) https://www.daicel.com/sustainability/governancereport/compliance/	
		・コンプライアンス徹底 ・リスク管理強化	ヘルプライン通報件数	実績を開示	102件	126件	161件		
			コンプライアンス違反を発見した際に迷うことなくヘルプラインに通報できると思われる役職員の比率※ ¹¹ (＝ヘルプライン通報訓練を経験した社員の比率)	2025年度:100%	18.0% (1,074名)	97.0% (総受講者数5,988名)	99.6% (総受講者数6,251名)		

※1 対象…日本、米国、欧州の薬局方 ※2 安全性の高い高沸点溶剤…MMPGACなどの溶解性が高く、低毒性の電子材料用溶剤 ※3 対象…日系自動車メーカー向け製品 ※4 自転車やシニアカー・電動キックスケーターなど ※5 屋内での入浴時の漏水、乳児の窒息、転倒・転落など
※6 循環型原料…バイオマス原料、大気中のCO₂の利用、廃棄物の再使用、リサイクル 対象…(株)ダイセル、ポリプラステックス(株)(2026年4月に当社と統合)、ダイセルミライズ(株)の主要樹脂材料 ※7 対象範囲…当社事業場 ※8 対象範囲…当社 ※9 対象範囲…当社国内製造拠点
※10 グループ企業の母数は当該年4月時点の人権デュー・ディリジェンス対象候補の企業数を記載 ※11 対象範囲…当社および国内グループ企業